

| | |
|----------------------------|--|
| 開講科目名 / Course | 英語 |
| ターム・学期 / Term・Semester | 2026年度 / Academic Year 3 学期 / Third |
| 開講区分 / semester offered | 3 学期 / Third |
| 単位数 / Credits | 1.0 |
| 学年 / Year | 3 |
| 主担当教員 / Main Instructor | 宮内 信治 |
| 担当教員名 / Instructor | 宮内 信治 |
| 必修・選択 / compulsory subject | 選択 |
| 講義形態 / Class Type | 講義 |
| 授業回数 | 10 |
| 科目の目的と概要 | A : 語彙を習得、増強する。ギリシャ語・ラテン語などを起源とする英語語彙と分野横断的な知識に触れる。学習範囲に応じて語彙小テストと英文暗唱レビューを実施する。 B : Retold版を通して英語で名著文学を講読する。本文をパラグラフ単位で音読する。学習範囲内の英文暗唱レビューを実施する。 |
| 到達目標 | A : 1.習得した英語語彙の意味を説明できる。 2.ギリシャ語・ラテン語起源の接頭辞、語根、接尾辞から単語の意味を類推できる。 B : 1.語の強勢を正しく再現できる。 2.文法を意識して節を分けることができる。 3.文意、文脈を解釈できる。 4.英文を暗唱できる。 |
| DPとの対応 | 1.心豊かな人間性・倫理観、2.科学的思考力、5.地域性・国際性 |
| 授業計画 | A-01. 講義概要説明、基本語の確認 B-01. Chapter 1 - 2 A-02. Session 12 (people and the stars, the earth and its life) B-02. Chapter 3 - 4 A-03. Session 13-1 (cutting in and out, more cuts) B-03. Chapter 5 - 6 A-04. Session 13-2 (love and words, more love) B-04. Chapter 7 - 8 A-05. Session 13-3 (words and how they affect people, how people live) B-05. Chapter 9 - 10 |
| その他の授業の工夫 | A : Concise Oxford Dictionaryなどを用いて適宜語源を確認し、併せてその周辺に記載されている語を参照することで、知識の幅を広げる。 B : 教材巻末にあるActivitiesを使って物語の流れを通して文脈を把握していく。英和辞典を適宜参照し、未知語彙の発音、品詞、語意を確認する。 |
| 時間外学修 | 事前学修A : 講義予定部分の未知語句を調べ、概要を把握しておく (4h)。 事前学修B : 本文に目を通し、未知語彙の発音、品詞、語意を調べる (3h)。 事後学修A : 音読練習により英文暗唱レビューに備える。語彙小テストに備える (6h)。 事後学修B : 文法とそれによる節の区切りを意識して音読練習し英文暗唱レビューに備える (6h)。 |
| 評価方法と評価割合 | A : 英文暗唱レビュー (25%)、語彙小テスト (25%) で評価する。 B : 音読確認 (25%)、英文暗唱レビュー (25%) で評価する。 欠席・遅刻 (早退) は減点する。欠席理由の如何にかかわらず、授業欠席3回にて成績評価レベルを一段階下げる。また欠席理由の如何にかかわらず、授業欠席4回にて期末筆記試験の受験資格を失う。授業に積極的に参加していない態度、授業に対する敬意を欠く態度、授業進行妨害行為などは、教員の判断により減点対象扱いとする場合がある。授業への出席状況などは学生が自らの責任において把握管理すること。 |
| テキスト | A : Word Power Made Easy B : 講義開始前に指定 |
| 参考書 | A: Concise Oxford Dictionary (Oxford University Press) B: 批判理論入門「フランケンシュタイン」解剖講義 (中公新書) |
| 履修する上で必要な要件 | 英語 A、英語 B、英語 A、英語 Bの単位をすべて取得していること。 |

| | | |
|-------------------|-----|---|
| その他 | | |
| 教員の実務経験 | 有・無 | 無 |
| | 内容 | |
| 教員以外で指導に関わる者の実務経験 | 有・無 | 無 |
| | 内容 | |
| 実務経験をいかした教育内容 | | |